

平成 24 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1 集落協定の概要

都道県名：愛媛県

市町村名：松山市

協定締結集落名：津和地集落

交付金額：7, 888 千円

協定参加世帯数：58 人（うち漁業世帯 58 人）

2 協定締結の経緯

津和地集落は、豊富な魚介類が生息する貴重な漁場を有し、一本釣り、刺し網、吾智網、たこつぼ漁などの漁船漁業のほか、ヒラメ、アワビの養殖が行われている。離島というハンディを抱え、基幹産業である漁業において、漁業者の減少や高齢化が進行している。また、魚価の低迷に加え燃料費の高騰により、厳しい状況におかれている。

こうしたことから、沿岸漁業資源の維持・拡大、漁場環境の保全、新規漁業の導入、漁業集落の活性化、所得の向上を目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・アカウニの放流を実施し資源の保護・増大を図った。（44,000 個）
- ・年間を通じて水質検査を実施した。
- ・景観や自然環境を保全するため、集落周辺の海岸清掃を実施した。（年間 3 回）
- ・密漁や違反操業又は違反漁具の使用等から地先資源の保護及び漁具の保全を図るため、漁場監視及び夜間監視を行った。（年間 20 回）
- ・食害の被害を防ぐためにエイの駆除を行った。（年間 10 回）

②集落の創意工夫を活かした取組状況

- ・新たな漁業としてロープにヒジキの若芽を挟み込み海上に張るヒジキ養殖に取り組んだ。また、簡易加工したヒジキを共販出荷及び農林水産祭りに出荷・販売することにより漁業所得の向上とを図った。

4 取組の成果

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・アカウニの種苗を放流することにより資源増大・資源保護が図れた。
- ・定期的に水質検査を実施することにより、アカウニやヒジキの良好な漁場の環境保全に活用できた。
- ・海岸清掃を実施することにより、自然環境の保護が図られた。
- ・漁場監視を実施することにより、地先資源の保護が図られ、違反操業の減少が期待された。

- ・エイの駆除を行うことで、魚介類の食害を防ぎ漁業生産力の向上が図られた。

②集落の創意工夫を活かした取組状況

- ・水産物の簡易加工（ヒジキ）に共同で取り組み、イベント等で加工品を販売し、漁業所得の向上と漁業生産力の向上が図られた。今後はヒジキの増産に向け研究機関とも連携しながら調査研究を進め、生産拡大に努めていく。（ヒジキ出荷量 14kg）

種苗放流	海岸清掃
	
漁場監視	有害駆除（エイ）の駆除
	
ヒジキの養殖	簡易加工品販売
	